いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町四八　電話一七六番
編輯兼發行人　印刷人　千葉寛郎
定價一ケ月十円一部五十錢（日刊 但月曜を除く）

べらぼうな大道路
反對運動は愈々激烈

平市驛前から南方田圃へ縱貫する道路問題は既報の如く市會の決議通り幅員三十米の內示があり、過般復興院平出張所から關係地主へ換地の通知書を發送したが、道路敷地に該當する地主の反對は猛烈を極め、中には道路幅員の決定を不服として「高等裁判所へ訴訟を提出する」と換地通知書を突き返したものさへあり、結果は注目されている、三十米の幅員道路に反對する理由は

平市の如き人口三萬そこ〳〵の小都市で然も余祐宅地の無いのに三十米といふ大道路は必要としない第一猫の額のやうな舊市內から八萬坪に近い尨大な道路敷地を潰しては住宅地が減じ平市をして一層衰微させることになる、大道路を作つた福島、郡山など新道路をもて余している現狀から見ても三十米などの必要がないといふのである、この反對運動のため、市內の選擧有權者一萬五千名のうち三分の二以上に當る一萬四百名の署名を得て復興院に反對の請願書を行つている

復興院の許可困難
浮ばれないのは敷地關係者

別項　平市の都市計畫は戰災に依つて特別都市に指定されたのを幸ひ國費を以て市內の道路網を完全なものに仕上げ、火災豫防や道路を美化整頓することを目的とし、市當局は千二百萬圓の工費に有頂天となつている譯だが此の道路計畫に依つて舊市街地の總面積約八萬坪ほど失ふ事になる全體の二割に當る宅地をとられるべらぼうに大きいものであるしかし當時計上された千二百萬圓の豫算は恐らく五倍に上昇していると見られるから五千萬圓の費用を必要とし此の一割は市の負担となるから市民に負はされる所も又大である更に側溝關係は一部分受益者が負担するらしいが直接道路敷地につながる地主のさわぎも無理からぬ事であらう

反對運動者の指導に當つている大谷武雄氏は語る

縣と市は決定的な事を云つているが、復興院の計畫局長、上木局長の話に依ると政府は未だ何等の許可も與へていない、「地元民多數の反對があるのに大切な國費は費へないと」反對の意見を述べている、國の方針が決らない先に工事を進め地方民をさわがして萬一復興院の許可がなかつたら誰れが此の責任を負ふか、平市の復興がおくれているのも道路問題が決らないためである道路は全然いらんといふのではない、戰災前の都市計畫にあつた十五米位に縮小する事を要望するのである

南方の宅地化が先決
市當局は冷靜に再考せよ

若し政府の方針が縣市の考へている都市計畫案を認め許可したとしても換地問題で地主側が反對の行政訴訟を起し、之が解決してから轉居命令を出すといふ順序にならうが、轉居命令が出ても之等多數の住宅をどうするか、何年先に解決するか一寸見通しがつかない、市民三分の二が反對請願に署名している關係から民主的に裁くとこれも大きい問題である他に家を建てる敷地がないのだから南方の田圃を宅地化し、これに完全な都市計畫を施行するのが當道であり、全市民を首肯せしむる所以であるから市當局並に市會は宜しく再檢討すべしといふ聲が大きい

過般の市會が三十六米道路を三十米に變更決議した際なども事をあせらず直接關係者の意見を聽く寛容さがあつたら問題は惡化せしめずにすんだかも知れぬとは一般の見方である（ＴＮ）

三十米道路 市會の總意
鈴木市長談

平市の都市計畫に對し復興院が未許可とは信じられない、三十米の道路にしたことについては、市民のうちにも反對があるやうだつたので正式市會に諮り、當初計畫の三十六米を適當とするか乃至は二十四米、十五米等に變更するかを協議の結果、三十米を適當とするとの決議に依つて六米減じた譯である、余論を全然無視した譯ではない

完成は市の熱意如何
復興院吉田所長と一問一答

平市の都市計畫に就いて市の理事者は少しも知識を持合せず、一方反對運動者も相當考へ違ひがあるため當の工事施行責任者である復興院平出張所長吉田四夫氏と一問一答を試みた

記者「反對運動者の說に依ると特別計畫に復興院が許可を與へていないといふが」

吉田「街路の巾員は戰災復興と關係はない復興事業は都市計畫事業と區劃整理、停車場移轉を綜合したものであつて、昨年の三月頃縣の都計委員會が決定內務大臣に答申し同年四月八日の官報で告示されている」

記者「豫算は一千二百萬圓と聞いたが相當增額するのではないか」

吉田「この事業は五ケ年繼續であるが、事業は短年度とし、一年宛の豫算でやる、第一年の昨年は九十萬圓本年は三百萬圓、明年は未だ決つていない、千二百萬圓は當初の豫算であり現在は二倍か乃至それ以上に增額するでせう」

記者「千二百まん圓金額國庫が出すのか」

吉田「全體の八割を占める區劃整理は四分の三を國庫負擔、殘りの三分の一に當る二割五分を縣市が當分に負擔する、改良の水道工事は縣市で二分の一負擔新しい水道工事は縣市で三分の二出さねばならない、水道工事は縣市で三分の一負擔する

記者「三十六米を三十米に變更したのは許可になつたか」

吉田「本廳の諒解はあるか正式には都計委員會で決める」

記者「それなら市當局が二十米に變更方を決議し申請したらどうなるか」

吉田「二十米以上の道路には四分の三の國庫金を出すが、二十米以下では二分一より出さない、第一そんなせまい道路ならやらん方がよいだらうとは復興院の意見です

記者「反對多くても復興院はやるだらうか」

吉田「市當局や市民の熱意如何にあると思ふ、復興院が放棄したら縣と市の恥辱になるでせう」

記者「この計畫で市街地がどの位つぶれるか」

吉田「現在の宅地の二割に當るでせう」

記者「それは大變の土地だ、現在他に余ゆうのない平などでは重大問題だ、市街地をつぶさず宅地を先づ南方に求める手はないか」

吉田「商業學校近くまで含んでいる農地法でむづかしいが將來の計畫は樹てゝいる

記者「市長などは市の負擔金がいくらかゝるか、道路に宅地がどの位つぶれるかも判つていない、千二百まん圓もかけて市街をよくしてくれるのだから反對はあるまいという程度だが、負擔金がどつさり來てから肝をつぶすのではないか」

吉田「前任者が決めた關係で冷淡なのでせう困つたものです

觀光映畫
わたしの故鄕
陛下御巡幸を卷頭に　九月上旬平で封切り

映畫「わたしの故鄕」全二卷この映畫は石城の觀光地を廣く紹介し宣傳するため日本交通公社と日本旅行クラブ平班（和樂路會）の共同主催、いわき民報社後援のもとに製作、九月初旬平市で先づ封切し次いで郡內各町村を巡囘して發表、更に全日本旅行クラブを通じ全國に紹介することが目的である

シナリオは東京の女學生二人が故鄕の叔父を訪ね、叔父の案內でふるさとの名所舊跡を訪ねるといふ簡單なもの、案內役の旅行クラブ平班長森川泰一郞さんは學生の學業として力こぶを入れているから地方紹介の名篇が出來るものと期待おかけられている

撮映は五日御巡幸遊された天皇陛下を湯本驛下車の狀況より、常磐炭礦を御視察され、平驛より御乘車になられるまで、石城地方と平市內の御視察狀況を卷頭に入れて次の名勝舊跡を全部收錄している

勿來の關趾、植田鮫川口、劒ケ濱、小名濱、江名豊間「賢沼辨天海岸」夏井村の專稱寺、如來寺、甲塚、新舞子海岸、四倉港　波立藥師玉山礦泉　夏井川溪谷、二ッ箭山、赤井嶽白水阿彌陀堂、湯本溫泉、ジャンガラ念佛（二ッ箭山と赤井嶽は更めて撮影する豫定）

學務視察

市常務委員會第二部（學務、委員長吉田喜代治市議）では十八日午前八時から市內各學校の學務情況視察を行う

山岳部結成
二十日本社樓上で

旅行倶樂部平班（和樂路會）ではかねて山岳部の結成準備中だつたが、いよ〳〵來る二十日午後七時から本社ホールで結成式を擧行す

小野通子さん

本社小野幸一記者令妹通子さんは筋炎で十四日午後八時急逝した、告別式は十六日午後二時自宅で執行した

いわき寸言

▲雨を望む、渇水いよ〳〵急を告ぐ、水も大幅の値上げを待つか

▲石城觀光映畫生る、遊覽客誘致に大きな役割を演ずるものと信じ祝福すべし

▲暑熱とゝもに溜は賑う、然し金は思うほどに落ちません、さては詰つたな

▲三六米道路いよ〳〵影薄し、最初から無鐵砲な自己滿足的計劃の當然の運命か

▲第一校九月から開校關係者の努力を謝す

民報論壇
眞晝の社交ダンスに苦言

或る青年の述懷此の頃彼の胸に割り込んできたのが社交ダンスの快いリズムと甘いメロデーである社交ダンス　其處では幾とせの間縛られ虐げられた青年男女の自由の姿を憬れる澄み切つた若い瞳でなければならなかつた筈だ。が明るさとキザツポさとを混同した男、美しくならうと焦つてわざ〳〵醜くなつている女彼等には智性も批判力も認められぬ。働きのない男と女のうごめきとしか感じられなかつた。すべては亂れた世の風潮ではあるが人間的な努力のない、だらけ切つた白茶けた世相の反映であると彼は失望した其の後の私は反作心理と云ふものかそれから無我夢中で働いて此の世の亂れの中でせめて獨り健全に暮さうと決心したのです

私はこの青年の述懷に接して何故とはなしにはつと安堵の胸を撫で下した。社交ダンスの本質論はともかく、私は社交ダンスと云ふものがそれ程惡いものであるとは考へないし又考へたくもない。それ處か民主主義發展の上に於てはかうした青年の風潮は其の意味に於て至極結構なものであると考へてゐる。だが然し今の若き世代のする社交ダンスの狀態をみるにつけ、時々ちぐはぐな不快さが湧いてくる。大陽の反寫熱でぢり〳〵とやきつけるアスファルトの上を、或る勞働者は、半裸の體にギラ〳〵汗をぎらつかせてあへぎ〳〵車を引いてゆく。或る若い青年は、自轉車のペタルをふんで砂塵の中を疾驅する。これが眞夏の街の表情だ

反轉して、眞晝のマルトモ三階から狂躁的な音樂が流れ小さな窓と云ふ窓から青年男女の不埒た嬌聲ば聲が聽へて來る。これは大きな社會の矛盾であるまいか、此の人々は働かざる者喰うべからずなんていう名言を吐く人々と思へる彼等青年男女がすべて富祐な家庭の子息子女ばかりなら反動呼ばりして排撃したいところであるが、これらの青年男女は働かないでも喰へる連中とは思はれない。親のなけなしの金をねだるか、一日働いて三日ごろ寢する手合であらう。これはダンスを踊つて民主主義とは、ジャーナリズムの虚名に囚はれ社會を毒する以外何ものもない。

眞晝間社交ダンスをやる青年達よ、それはいろ〳〵の理由もあることであらうが、俄か仕立の猿芝居を演ずる愚をやめ一應じつくりと腰を落着け、我が身我が社會の現實の上にふんまへて今こそより高き論理を見出すべきであらう。（ＳＳ生）

醫藥用、化學用
其他硝子製品一式
新星硝子工業株式會社
平市佃町
電七一四番

外科　[illegible]
內科　松本源一
平市鎌田町
金成醫院
電八二六番

衣類寢具骨董
貴金屬
高價買入
平市南町　中央會館

分割分村すべからず
小名濱町會態度決る

小名濱町では舊玉川分村問題についての縣の諮問に答申するため十五日午前九時から第一小學校講堂に町議協議會を開催、劈頭樋口町長から今日までの經過報告が詳細にあつてから小野議員から二月の部落投票の結果を尊重して分割分村すべしとの意見があり、之に對し金澤議員から反對意見も開陳されたこの日舊玉川側の各部落から傍聽者が押寄せているので、此の際その代表連の意見をも聽取する事が民主化の意義にもそうとあつて直に大源部落の渡邊渡、野田部落の中野左京、林城部落小泉忠文、金成部落の橋本祐吉、泉部落鈴木貞平、鈴木秀雄の諸氏の忌憚ない意見を求めたが、何れも分割分村では村として成り立ち難い故、現狀維持によつて純農村としての施設を十分に企劃される事を望むといふに一致した、之に續いて立花、坪内、鈴木、小野（務）馬上の各議員からも分割分村の意味ないことを指摘した、かくて大勢は分割分村すべからずに落ついたので樋口町長は近く正式町會を召集、此の旨を決議、縣に答申することに態度を決定、午後三時散會したが揉みぬいた分村問題も結局大勢には抗し得ず龍頭蛇尾に終る運命になつた

警察官へ感謝
後援會の基金六五萬圓募集

民主日本再建に當つて幾多の困難と闘ひ、社會の秩序維持に任じている警察官の生活を安定させ、福利厚生施設を設け、或ひは職務に殉じた警官を慰謝するため「福島縣警察後援會」を結成、全縣から五百萬圓の寄附金を募つて之を基本金とすることになつた、濱三郡下の割當は百十萬圓となつているため、十四日平市五丁目平商工會議所會頭諸橋久太郎氏宅に三郡市の關係者が集ひ協議の結果、双相二郡で四十五萬圓、石城と平市で六十五萬圓募集することに決定、更に郡市を次の如く分割して近く市町村別の募集を開始することになつた

□二十五萬圓、平、四倉、大野、大浦、神谷、草野□二十萬圓、江名、小名濱、豐間、高久、夏井□十五萬圓、赤井、好間、湯本、磐崎、永戸、箕輪、三阪澤渡、川前□十萬圓、植田、勿來、錦、川部、山田、上遠野、入遠野、渡邊、泉

在外同胞引揚促進
留守家族問題に就て

福島縣海外引揚者縣連合會理事長
海外同胞引揚促進聯盟副委員長

（上）　大野友春

在外同胞歸還促進問題は留守家族の哀情より發する念願であると同時に、日本民族の念願でなければならないことは、國内的問題としてまた敗戰日本が民主新日本として發足するに當り、全民族一人洩れなく救國戰線に就かしむべきであり、從つて未歸還同胞のみがこの戰線より除外されてゐることは、戰爭犧牲の公平なる負担の原則に反し救國民族戰線の一大欠陷と云はなければならない。國際的問題としてはポツタム宣言がより早く履行されることであり、世界平和への促進の要求であると云ふことである。何故かなれば在外同胞及其の家族は理由の如何を問はず、間的感情によつて歸還促進に堪えられない悲哀と不滿を持ち、抑留國への反感を高めるからである引揚促進は各種事情の圓滿なる解決によつて實現する問題であつて其の家族及日本國民の感情的祈願によつてのみ解決されない事について政府は萬全の措置をとらなければならない。そして國民が、政府が此の責任に於て實行すべき事は家族援護と慰問の徹底實施である。それによつて家族を慰撫し激勵し安心させ歸還の日を待たせるやうにしなければならない。これがために次の事を全國民の連帶責任として眞心より實施すべきである。

1殘留同胞の即時歸還

2留守家族の生活保證

3同子弟の敎育冠婚等に對する特別措置

4同じく慰問と激勵

殘留同胞がひたすら祖國のため日本民族繁榮を念じ、遠く出て行きたる國家の犧牲者たる以上、假令敗戰國として種々制約され居るとはいえども全國民の連帶責任に於て速かに無事歸還せしめ、家庭人として共に乏しきを分ちあい平和日本の再建に奮起せしむべきである。勿論之が實現に至る迄は政府は、2、3、4の諸事項を徹底せしめ、留守家族を不安無からしむべきである。然るに昨年來關係者の叫び續け來たつた血涙の嘆願も陳情も未だに實現に至らず、數百萬の留守家族は失望落膽生活苦のため生地獄そのまゝの有樣を續けてゐる。政府は今回新日本建設國民運動を展開せんとしてゐる。まことに結構である。希くば政府自ら卒先して此等戰爭犧牲者に同胞愛の暖き手を差しのべ、家族の援護に完璧を期し以て三わんの食をわんとしても共に乏しきを分ち含ふの施を國民に示されん事を希望する。

地域別殘留者數は外務省管理局、復員局、厚生省引揚援護院等でそれぞれの推定數を發表しては居るが、之等の統計數字間には相當の喰違ひがあり、何れの數も確たる基礎をもつものではない。大つかみにして五月末でソ連地區ではシベリヤ方面に二十萬乃至三十萬人極東沿海洲方面に三十萬乃至四十萬人、南樺太では眞岡豐原大泊の集結地に計二十萬人程度で合計八十萬人が殘留して居る。この殘留者の抑留地については大體ウラル以東アジア方面に及ぶ廣汎な地域と推定されてゐるわけであるが、六月十九日附毎日新聞に發表された舞鶴援護會の發表と言ふウクライナ方面に二十萬人分布の說は疑はしい、また殘留者數についても引揚援護院の發表では四月末ソ連地區合計六十五萬八千餘になつて居る。この數字は過少推定と考へられる。又南方では既に蘭軍管理區の引揚は五月末を以て終了したことになるから、英軍管理地域主としてマレー及シンガポールに約六萬乃至七萬程度が殘在してゐることとなつて居るが、我々の推定では十萬餘と思ふ。殘留者は樺太方面が一般人であることを除けば殆んど軍人である

開放

投書を歡迎
要望批判結構紙上とく名可

『愚の骨頂』

ロクな教養もないくせに他人の言葉尻をとらへては「用語」の講釋をする大馬鹿者があるこんな人間は愚の骨頂だ。

うすつぺらな者からおだて上げられて宇頂天になり、實情も調査しないで他人をひ謗し他人の名譽を毀損するが如き言辭を弄して得意がつてゐる大馬鹿者がある愚の骨頂だ。

自由と放縦とを履き違へ如何にも自由人らしく放縦な行爲を得々としてやつてゐる大馬鹿者がある愚の骨頂だ

口を開けば「彼等は」とか「民主革命」とかガラシポの頭にウロ覺えに覺えた新聞用語をひねくつて大雄辯家と自負し「彼の人は革新的な人物だ」等とおだてられて自巳ぼれて偉がつてゐる無智蒙昧な大馬鹿者がある愚の骨頂だ

自分は闇行爲をして生活しながら他の者が闇で一萬圓もうけたとか二萬圓もうけたとか聞くと「闇行爲は民衆の敵だ」等と羨んだり口惜しがつたりして内心悶々としてゐる大馬鹿者がある愚の骨頂だ

斯る愚の骨頂者よ、民主革命はぶち壊る許りでなく新しい建設であることを明記せよ、

他人を攻擊しひ謗する事のみを善事とする前に自巳を反省し人格を修養せよ

言論の自由と權利を主張する前に先ず以て道德的義務を完行せよ

民主革命の美名にかくれて　自巳の反省もせずいたづらに他人をひ謗して得意がつてゐる大馬鹿者は「自巳の墓穴を自ら掘つて居る」眞理を自覺すべきである。

小名濱町　藤田瑞穗

自動車と窓ガラス

◎自動車道路面に沿つた窓ガラスが自動車進行中路面の石が飛びはねて窓ガラスを破壞することが再々ある

◎進行中の運轉手はそれを氣付かないために通過する時もあるが確知した場合は直ちに現場で陳謝し適當の方法にあつて解決すべきであつて同時に經營主側よりも謝意を表すべきである

◎最近聞く處によると自動車運轉手がかゝる事故の際現場で被害者に營業本所に出頭せよと云い殘して退去したといふがこれは社會の道義上面白くない反省すべきであらう

（ゆ本町　千葉生）

火災見舞金
北海道兩炭鑛へ　常磐炭田として

東部石炭勞資協議會では過般の北海道芦別、幾春別兩炭鑛の火災見舞金をとりまとめ中のところ十二萬三千九百十圓に達したので、この程炭協を通じ夫々兩炭鑛へ贈つた

市營住宅三九戸　分讓住宅三〇戸
第一期分は九月末頃竣工

市營住宅並に分讓住宅は既報の如く過般の委員會で正式決定第一期分が十一人の請負人に分担契約成り、九月末日には設立することになつた、當初の計畫は新物價体系に依つて縮小を余儀なくされ、從つて建築費も相當增嵩した

市營住宅　三十九戸、二戸建の一戸十坪工費は水道電氣を含んで一戸五萬二千圓（當初計畫三萬五千圓）、

分讓住宅　三十戸　一戸十二坪建築費六萬圓（水道、電氣工事費は別途當初の計畫四萬八千圓）

分讓住たくは契約着手金として三萬圓納付し竣工と同時に殘りの三萬圓を納めて自分の物とする譯、市のふ助は一錢もないが建築資材が全部丸公配給だからとこれでも市價の半額といふところか、なお市有土地が無いためにこの住たく地は全部自巳の提供となつている

少年野球
組合せ

あす湯本町で

本社支局後援の湯本町少年野球大會は十七日午前七時から町營球場で擧行する、參加十二チームで組合せは左の如く決定した、なお當日の入場式は午前七時試合開始八時である

ⓐAグランド
イ吹谷ー表町
ロ天王崎ーイの勝者
ハ水ノ谷ー上町
ニ榮町ーハの勝者

ⓑBグランド
ホ寶海ー品川
へ裏町ーホの勝者
ト東町ー上中町
チ辰ノ口ートの勝者

湯本町會

湯本町町會は十六日午後一時から町役場會議室で開き消防團設置條例に關し協議した

下期石炭計畫
設定會議

あす磐女校に

常磐炭田の本年下期出炭計畫設定會議は百十五炭鑛の出席を得て十七日午前十時から磐女講堂に開く

研古の盆踊も
舊暦で
正式に延期決る

平市古鍛治研町の有志は天理敎會前に於て新暦による盆踊り大會を催す筈であつたが大勢は舊暦によつて行うことになつたので同所でも之に順應し舊暦で催す事になつた

營業種目
電球用硝子及製壜一般製造
殊特鑛山用電球製造
一般照明用電球製造
平硝子製作所
本店 平市田町26 電平7198
7745
第一工場 平市外小島新町2 電平52
第二工場 平市新川町30 電平98

湯本運連
野球部會

運動とスポーツ連盟湯本支部野球部會は十五日午後七時役場會議室で部則、幹事並に委員せんきよ全國軟式野球大會豫せん出場町內會對抗野球試合組合せ等について協議した

外食券盜難

十五日午前三時頃平市四丁目十一屋食堂小島一郎（四〇）さん方へ賊が表ガラス窓から入り、悠々と家中を物色、釜にあつた御飯を手づかみで食べた上、外食券二百五十枚と現金四百圓を盜んだ

お盆の仕入れは
ゼヒ當店へ！
塗下駄
エナメル草履
各種鼻緒
下駄道具
番傘蛇目
問屋 田口辰雄商店
平市五丁目 電（小）三七七

買ふ身になつて！
良い品を少しでも安くと
夏期用雜貨
ウチワ、扇子、蠅除其他
（公）卸値　一割引で發賣中
安値自信卸問屋
さかいや商店
平市六丁目（電四八五番）
空木箱賣物あります

暑中御伺

番犬
生命財產を守るには
是非優秀な日本犬を
日本犬專門店 石城郡大浦村下仁井田字樋何七二
鈴木重光

ベアリングの店
農器具用六二〇〇番代各寸法
電動裝置
製材用 一吋ヨリ二吋迄（ケース各寸法）
其ノ他各種ベアリング續々入荷中
赤塚運兒營業所ベアリング部
平市田町二六電話一九一番